

血液病態解析学特論

《担当者名》○田中真樹 高橋祐輔

【概要】

血液の機能は多彩で、ガス交換、栄養素やホルモンの運搬、止血作用および免疫作用などがある。血液は全身を循環し、全器官の機能と健全な生命活動の維持など、重要な役割を果たしている。造血器腫瘍、貧血や血栓・止血疾患などの血液疾患は生体に多くの症状を引き起こす。各疾患の病態を詳細に把握することで、その疾患の発症機序、最先端の検査法や治療法を学習する。さらに、分子・遺伝子レベルで各疾患の病態について理解を深めることで、新たな検査項目の発見や新規検査法の開発に関する可能性を追求し、学習する。

【学修目標】

- 1) 新規臨床検査項目の開発のために、血液疾患の病態を解析し探究することで発症機序を理解する。
- 2) 疾病の診断能が高い血液学的、分子生物学的、遺伝子学的および免疫学的な検査法について列挙できる。
- 3) 最新の分子標的治療法のメカニズムと、その治療効果の評価に関する検査法を正確に説明できる。
- 4) 既存の検査法と新たに臨床応用された検査法を比較し、臨床での有用性と問題点を的確に評価できる。
- 5) 臨床血液学の研究動向を調べ説明できる。
- 6) 高度専門職業人として質の高い臨床検査の知識・技術を提供できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	血液の基礎知識	・血液の機能について	田中真樹
2	血球の産生・崩壊	・血球の分化・増殖・成熟・崩壊について	田中真樹
3	鉄の代謝	・体内の鉄分布・吸収形態と循環について	田中真樹
4	造血器腫瘍 1	・最新造血器腫瘍の分類について	高橋祐輔
5	造血器腫瘍 2	・悪性リンパ腫の病態・検査法・診断について	高橋祐輔
6	造血器腫瘍 3	・急性骨髄性白血病の病態・検査法・診断について	高橋祐輔
7	造血器腫瘍 4	・骨髄増殖性疾患、骨髄異形成症候群の病態・検査法・診断について	高橋祐輔
8	造血器腫瘍 5	・骨髄腫および類縁疾患の病態・検査法・診断について	高橋祐輔
9	貧血 1	・鉄欠乏性貧血、鉄芽球性貧血の病態・検査法・診断について	田中真樹
10	貧血 2	・再生不良性貧血、赤芽球癆の病態・検査法・診断について	田中真樹
11	貧血 3	・溶血性貧血の病態・検査法・診断について	田中真樹
12	貧血 4	・巨赤芽球性貧血、二次性貧血の病態・検査法・診断について	田中真樹
13	出血性疾患 1	・血小板の異常による出血性素因の病態・検査法・診断について	田中真樹
14	出血性疾患 2	・凝固、線溶因子異常による出血性素因の病態・検査法・診断について	田中真樹
15	出血性疾患 3	・凝固、線溶因子異常による出血性素因の病態・検査法・診断について	田中真樹

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

【評価方法】

レポート 100%

【評価基準】

血液疾患の病態を詳細に理解し、疾患の発症機序、最先端の検査法や治療法について適切な説明ができる者に単位を付与し、学修目標に記載する能力（知識・技能、思考力、判断力、表現力など）の達成度に応じて、優（80点以上）、良（70点以上）、可（60点以上）の評価を与える。

【教科書】

教科書は使用しない、その都度プリントを配付する

【参考書】

Kenneth Kaushansky et al. WILLAMS Hematology, 10th Edition, McGraw Hill / Medical, 2021.
配付資料（論文）

【備考】

Google Form を用いてレポート課題を提示する。

【学修の準備】

次回の授業内容について、調べておくこと(30分)。
復習は、配付資料を活用し学習を深めること(30分)。

【ディプロマポリシーとの関連性】

(DP2) 臨床検査に携わる高度専門職業人として、医療環境の変化や社会的ニーズを把握し、臨床検査や関連研究から新しい知識と技術を修得、実践・応用し、質の高い臨床検査を提供できる能力を身につけていること。

【実務経験】

田中真樹(歯科医師)、高橋祐輔(臨床検査技師)

【実務経験を活かした教育内容】

医療機関での実務経験を活かし、血液病態解析学の総論と各論を講義する。